

日本馬術連盟制定 自由演技国体少年馬術課目

競技会名 _____

日付 _____

審判員名 _____

審判員位置

規定時間: 4' 30"から 5'00"の間に演技を終了のこと。

	技術性評価	最高点	採点	係数	最終得点	観察所見
1	収縮常歩(20m以上)	10				
2	伸長常歩(20m以上)	10		2		
3	収縮常歩で右と/または左へのピルーエット	10		2		
4	収縮速歩 右肩を内へを含む	10				
5	収縮速歩 左肩を内へを含む	10				
6	収縮速歩 右へのハーフパスを含む	10		2		
7	収縮速歩 左へのハーフパスを含む	10		2		
8	伸長速歩	10				
9	収縮駢歩	10				
10	伸長駢歩	10		2		
11	右収縮駢歩からの踏歩変換1回以上	10		2		
12	左収縮駢歩からの踏歩変換1回以上	10		2		
13	入場と、演技前および演技後の停止	10				
技術性評価		200	***** *****			***** *****

日本馬術連盟制定 自由演技国体少年馬術課目

プログラムNo.

競技者名

所属

馬名

No.

ハイレベルの運動は許されない。但し、腰を内へ、腰を外へは許される。

観察所見

	芸術性評価	最高点	採点	係数	最終得点	観察所見
14	リズム、力強さ、伸縮性	10		4		
15	人馬の調和	10		4		
16	振り付け、図形の独創性	10		4		
17	難度（よく計算されたリスクを踏まえて）	10		4		
18	選曲、解釈、表現	10		4		
芸術性評価の合計		200	***** *****			***** *****

※) 0.5点を与えることができる

減点すべきもの

アリーナ(競技場周囲)で鞭を携帯した場合は各審判員の最終得点から1%を減ずる。

タイム減点: 5分以上、4分30秒に満たない場合は、芸術性評価の合計から2点を減ずる。

得点

技術性評価の合計点を2で除す	100	
芸術性評価の合計点を2で除す	100	
最終得点	200	

最終得点が同点の場合は、芸術性評価の高い競技者を上位とする。

審判員署名 _____

2007年4月1日改訂

この審査用紙及び運動課目は、日本馬術連盟が著作権、施行権及び使用権を有します。よって無断複製したり、またこの審査用紙以外の用紙は使用できませんのでご注意ください。